

## 資 料

# わが国の野生サクラ類の葉による検索表

中 村 徹\*

Toru NAKAMURA\*

バラ科サクラ属 (Genus *Prunus*) はいわゆるサクラの仲間やニワウメなどの花木だけでなく、ウメやモモ、アンズなどの果樹をも含む大きな分類群である。わが国のサクラ属は5つの亜属に分かれており、このうちサクラ亜属のサクラ節とミヤマザクラ節およびウワミズザクラ亜属は、いわゆるサクラの仲間、サクラ類とも呼ばれている。

わが国には野生のサクラ類の種が多く、全国の山野に自生している。これらは樹形や樹皮、葉の特徴により、サクラ類であることは比較的容易に認識できることが多いが、種を同定することはむずかしい。種の同定には検索表が必要となる。

花や実の形態的特徴をもとにした検索表<sup>3,5)</sup>は各種公表されているが、花や実は一時的なものであり検索には実用的でない面もある。その点、葉は全生育期間にわたって検索に利用できるという利点がある。既存資料<sup>1~7)</sup>をもとに葉の形態による検索表を作り、これを野外で実地に利用して改善を重ねた結果、ほぼ実用に耐えうる検索表を作ることができたので公表し、皆様のご批判を仰ぎたい。

なお、本検索表をご校閲いただき、ご批判とご激励を下さった元東京大学教授・故倉田悟博士に深謝する。

## 文 献

- 1) 初島住彦：日本の樹木. 880 pp, 講談社, 1976
- 2) 本田正次・林 弥栄：日本のサクラ. 306 pp, 誠文堂新光社, 1974
- 3) 北村四郎・村田 源：原色日本植物図鑑木本編 (II). 545 pp, 保育社, 1979
- 4) 倉田 悟：原色日本林業樹木図鑑 I ~ V. 地球社, 1964-1976
- 5) 大井次三郎：改訂新版日本植物誌. 1560 pp, 至文堂, 1965
- 6) 大井次三郎・太田洋愛：日本桜集. 325 pp, 平凡社, 1973
- 7) 矢頭献一・岩田利治：図説樹木学落葉広葉樹編. 216 pp, 朝倉書店, 1966

---

\* 筑波大学農林学系

\* Institute of Agriculture and Forestry, University of Tsukuba, Tsukuba, Ibaraki 305

わが国の野生サクラ類の葉による検索表

1. 蜜腺は明らかに葉柄上部にある。
2. 著しい欠刻状重鋸齒縁。
3. 葉柄に毛がない。
4. 葉質はうすい。広倒卵形～倒卵形。鋸齒の先は明らかに腺になる。低木～亜高木。……………1. ミネザクラ (タカネザクラ)
4. 葉質はやや厚い。倒卵状円形～卵状円形。葉の両面・葉柄はまったく無毛。基部は浅心形。高木になる。……………2. タカネオオヤマザクラ
3. 葉柄に毛がある。
4. 葉の裏面は白味を帯びる。葉質は厚く、表面は緑色で、光沢がある。裏面の中肋脈上に毛がある。広倒卵形～広楕円形。葉柄には開出する密毛あり。蜜腺には紅毛がある。……………3. オオミネザクラ
4. 葉の裏面は白味を帯びない。
5. 四国以外に自生する。
6. 葉の基部は次第に細まる。若葉緑褐色。両面ことに下面脈上に密毛。亜高木～高木。若枝は淡褐色で、開出毛が多い。……………4. ニッコウザクラ
6. 葉の幅は広く、基部は円形～浅心形。新葉は赤褐色。はじめ両面に淡毛が密生し、のち下面の脈沿いに短毛を残す。低木～亜高木。小枝は紫褐色。ミネザクラの有毛品。……………5. チシマザクラ
5. 四国の石鎚山～東赤石山の山頂付近および剣山に自生する。鋸齒の先端の腺はやや不明。一見チシマザクラに見える低木。……………6. イシヅチザクラ
2. 単～重鋸齒縁。
3. 葉柄は無毛。
4. 葉裏は白味を帯びない。
5. 葉裏の脈腋に多少毛叢がある。葉はうすい。本州中部～北海道の冷温帯～亜寒帯に自生する。
6. 葉の基部は心形。細鋸齒の先端はやや芒状で、紅色の腺になる。葉柄は2～4cm。幹は灰褐色。切ると香気がある。……………7. シウリザクラ
6. 葉の基部は円形～鈍形。細鋸齒はやや鋭く、低い。狭倒卵形～倒卵形～楕円形。葉柄は1～1.5cm。幹は黒褐色。……………8. エゾノウワミズザクラ
5. 葉裏の脈腋に毛叢はない。葉はやや厚い。本州の暖温帯に自生する。荒い鋸齒の先端は芒状に長く尖る(2mm)。葉の表面は濃緑色～鮮緑色。下面は淡緑色で、生時にはやや光沢がある。……………9. オオシマザクラ
4. 葉裏は白味を帯び、無光沢。鋸齒の先端は芒状にならない。
5. 斜三角形のやや大きい単鋸齒。楕円形～卵状楕円形～倒卵状楕円形。葉はやや厚く、表面は濃緑色でやや光沢がある。裏面はわずかに白味を帯びる。……………10. オオヤマザクラ (エゾヤマザクラ)
5. 鋭尖細鋸齒。長楕円形～狭楕円形～卵形。
6. 本州、四国、九州の低地～標高700mに自生する。小枝はやや細い。最も代表的なサクラ。幹は暗褐色。全木無毛。……………11. ヤマザクラ
6. 九州の海岸型。枝は太く、葉は大きく厚い。……………12. ツクシヤマザクラ

3. 葉柄は有毛。
4. 葉裏は白味を帯び、無光沢。鋸歯の先端は芒状にならない。幹は暗褐色。皮目が著しい。
5. 狭楕円形～長楕円形～卵状長楕円形。幅3～4.5cm。基部は円形～鈍形。葉柄は紅緑色～帯赤色。蜜腺は紅色。  
ヤマザクラの有毛品。……………13. ウスゲヤマザクラ
5. 楕円形～卵状楕円形～倒卵状楕円形。幅4～7cm。基部は浅心形(～円形)。葉柄は紅紫色。いはば紅色の蜜腺。  
オオヤマザクラの有毛品。……………14. ケエゾヤマザクラ
4. 葉裏は白味を帯びず光沢がある。先端が短芒状のやや荒い、重鋸歯を疎生。倒卵状～倒卵状楕円形。葉柄にまばらに  
開出毛がある。幹は灰褐色。……………15. カスマミザクラ  
(ケヤマザクラ)
1. 蜜腺は葉縁基部にあるか、または不明。
2. 欠刻状重鋸歯縁。
3. 葉柄に毛を密生する、またはやや密生する。
4. 葉は著しく小型で、長さ2～3cm。葉柄は6mm。両面帯紫色で上面に細毛がある。南アルプスの仙丈岳、塩見  
岳、荒川岳などの高山帯に自生する低木。……………16. クモイザクラ
4. 葉は小型で、長さ3～6cm、幅2～3cm。
5. 葉柄の短毛は伏毛～斜上毛。葉の上面に斜上毛を散生する。両面の脈上に短毛がある。脈理は下面に明らか。鋸  
歯の先端は腺にならない。長さ3～5cm、幅2～3cm、葉柄8～10mm。側脈6～8対。……………17. マメザクラ
5. 葉柄の短毛は斜上毛～開出毛。葉の上面に斜上毛を散生する。下面は有毛で、脈上に著しい。鋸歯先端の腺はや  
や不明。長さ4～6cm、幅2.5～4cm、葉柄5～9mm。側脈7～9対。……………18. チョウジマメザクラ
4. 葉は中型～大型で、長さ4～10cm、幅2～6cm。
5. 葉柄に短い開出毛を密生する。葉は両面に褐色軟毛がある。下面には開出毛を密生する。整三重鋸歯の先端は腺  
をなす。基部に向かってややくびれるように細まる。円～楔脚。……………19. チョウジザクラ
5. 葉柄に伏毛が多い。
6. 一年生枝に茶色の伏毛を密生する。凸出する下面の脈上には伏毛がやや著しい。側脈6～11対。鋸歯先端は明  
らかな腺になる。上面は暗褐色。下面は淡色で無光沢。葉柄の上面に浅い溝がある。……………20. ミヤマザクラ
6. 葉柄と葉の下面脈上に淡褐色の斜伏軟毛がやや密生する。側脈10～14対。倒卵～卵状長楕円形。先は長く尖る。  
本州中部に点在する亜高木～高木。……………21. チチブザクラ
6. 葉はマメザクラに似てやや大型。長さ4～9cm、幅1.5～4cm、葉柄8～12mm。倒卵形。鋭頭～鋭尖頭。成  
葉になっても両面に有毛。しばしば上面は無毛になる。……………22. ヤブザクラ
3. 葉柄には伏毛を少生するか、または無毛。
4. 成葉はほとんど無毛。埼玉県の武甲山および双子山の主として石灰岩地帯に自生する。葉はマメザクラより大きく、  
広倒卵形。長さ5～8cm、幅3～5cm、急尖頭、円脚。……………23. ブコウマメザクラ

4. 上面は短伏毛～無毛, 下面は幼時に脈上に毛がある。本州の中部～中国地方に自生する。葉はマメザクラより大きく, 倒卵形～広卵形。長さ3～8cm, 幅2～4cm, 葉柄5～10mm。尾状尖頭。……………24. キンキマメザクラ
4. 両面に褐色の軟毛がある。下面は脈上に毛を散生。青森～岐阜の日本海側に分布する。葉は倒卵形～狭倒卵形または倒卵状楕円形。長さ5～8cm, 葉柄6～10mm。尾状鋭尖頭。……………25. オクチョウジザクラ
2. 単～重鋸齒縁。
3. 成葉の下面脈上には毛がある。
4. 葉柄には毛が少くない。若枝はほとんど無毛。葉は倒卵形～倒卵状楕円形。尾状急尖頭。鈍脚。上面に散毛。下面は白味を帯びた緑色。秩父, 栃木に自生する。……………26. ナルサワザクラ
4. 葉柄には毛が多い。
5. 葉の上面は無毛。葉柄の上面に溝がある。葉は細長く, 狭楕円形～長楕円形～狭倒卵形～倒皮針形。尾状鋭尖頭。楔脚。鋸齒先端の腺は不明。……………27. エトヒガン
5. 葉の上面は有毛。
6. 鋭い重鋸齒。植栽品。枝は太い。葉はやや厚い。
7. 葉柄は15mm, 斜上毛(細毛)を密生する。葉は楕円形～倒卵形。鋭尖頭。鈍～截脚。長さ6～10cm, 幅3～7cm, 側脈8～9対。上面には毛が著しく, 下面には密毛がある。……………28. ナデン
7. 葉柄は20～25mm, 腺を帯びる伏毛(軟毛)がある。葉は楕円形, 広卵形, 広倒卵形。急鋭頭。鈍脚。長さ8～12cm, 幅3～6cm。側脈10～17対。葉面の毛は腺を帯びる軟毛。……………29. ソメイヨシノ
6. 細かい重鋸齒, または深い大型の重鋸齒。自生種。
7. 富山県東砺波郡鱈山の標高300m付近に自生する。葉は広倒卵形～倒卵形～広楕円形で大きい。急鋭尖頭。楔～広楔脚。長さ8～12cm, 側脈7～14対。葉柄に密毛がある。……………30. コシノヒガン
7. 日光, 秩父地方に自生する。倒卵状楕円形～倒卵状長楕円形。急鋭尖頭。鈍～鈍脚。長さ3～9cm, 側脈10～14対。葉柄に短毛が多い。若枝に毛がある。……………31. モチヅキザクラ
7. 房総半島, 伊豆半島の山地に自生する。倒卵形～広倒卵形～楕円形で小型。短尾状尖頭。円脚。長さ3～8cm, 幅2～3.5cm, 側脈6～11対。大型重鋸齒の先は小腺になる。葉柄は8～12mmで, 斜上毛がある。……………32. コヒガンザクラ
3. 下面脈上には, 時に若時に毛があることもあるが, のちに両面無毛。上面は緑色で, 下面は淡色。
4. 鋸齒は内側に向かう細かい単鋸齒。葉は長楕円形～倒卵状長楕円形。鋭尖頭。楔脚。洋紙質で, やや光沢がある。長さ5～10cm, 幅2～3.5cm, 側脈5～8対。中肋は上面凹, 下面凸。葉柄8～25mm。……………33. イヌザクラ
4. 鋸齒は鋭く芒状に尖り, 細かい。楕円形～卵形～卵状長楕円形。尾状急鋭尖頭。円脚。うすい草質。長さ6～15cm, 幅2.5～5.5cm, 側脈7～8対。葉柄は6～8mmで, 横断面は丸く, 上面に浅い溝がある。……………34. ウワミズザクラ